南小だより

佐世保市立吉井南小学校
№18　R．４．９．１６（金）
文責：山　口　伸　一　郎

５年生の宿泊体験学習を実施しました。

１３日（火）、１４日（水）の２日間、５年生が県立世知原少年自然の家において、宿泊体験学習を実施しました。欠席者もなく、全員元気に参加することができました。今回の２日間も、学校生活と同様に、マスク着用や手指の消毒の徹底、検温等の予防対策をしっかりと行って活動しました。また、吉井北小と一緒の宿泊でしたが、部屋の人数もゆとりをもって使用させていただく等、自然の家の方々にも様々な部分でご配慮いただきました。

出発式では、**「協力し合って物事を成し遂げる」、「集団行動のマナーを身につける」、「自然に親しむ」**という３つのことをしっかりとがんばってきてほしいという話をしました。子どもたちは、「森林グループワーク」や「竹箸づくり」、「沢登り」等、予定されていた学習活動を友だちと協力しながら、しっかりと行うことができました。また、吉井北小の５年生とも、夕食後いっしょにドッヂビーを行い、交流を深めることができました。

＜小刀を使った竹箸づくり＞

どの活動にも友だちと仲良く協力して取り組むことができ、笑顔いっぱいの楽しい思い出がたくさんできたようです。また、あらためて友だちの優しさや思いやりに触れる機会となり、互いの友情と絆をより一層深めることができたようです。この貴重な経験が、高学年としての今後の学校生活の充実と６年生進級に向けての大きな自信につながってくれることを期待しています。

１０月末には、運動会という大きな行事も予定されています。５年生も６年生とともに、しっかりとリーダーシップを発揮して、下級生を引っ張ってもらわなければいけません。今回の経験を生かしながら、学校生活の様々なところで自主的・主体的な取組を行い、南小を盛り上げてほしいと思います。

学校においては、これからも新型コロナウイルス感染拡大防止に十分に留意するとともに、関係各所と連携を図りながら、子どもたちにとって思い出深い充実した学習を実施することができるように努力していきたいと思います。今後とも、ご家庭のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

少しずつ秋の気配を感じるようになりました。

今年の夏も猛暑となり、９月になっても、日中はまだまだ夏のような強い日差しが照り付け、気温も３０度以上の日が続いています。そのような中でも、朝・夕は少し涼しい風を感じるようになってきました。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があります。今年は、彼岸花をなかなか見かけることがなく、もしかしたら猛暑の影響で咲くのが遅れているのだろうかと一人で考えていたところでしたが、今週の半ばには道路脇や田の畔に、赤や白の彼岸花を見つけることができました。きれいな彼岸花を見つめながら、ひどく暑い夏であったとしても、時期が来たらちゃんと花を咲かせる植物の生命の神秘に、あらためて感動したところです。

ふるさと吉井は、豊かな自然を感じることのできる場所がたくさんあります。「子どもたちは、この豊かな自然の価値に気づいているだろうか」と、ふと思うこともあります。子どもたちには、学校の登下校時や近所で遊ぶ時等、ちょっとした時にでも、ぜひたくさんの秋を感じてほしいなあと思います。そして、自然豊かな「ふるさと吉井」を大切にして生活してほしいと思います。私も、今年も出勤途中に見えるであろう大好きな秋桜の花を楽しみにしたいと思います。